

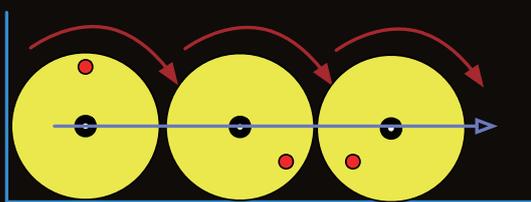
自由曲面印刷機

特開平 08-183160

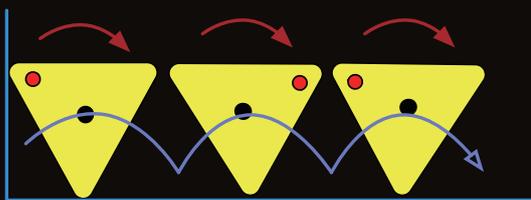
印刷したいワークの CAD データはいつも手元にはありません。

本機は断面形状が凸なる柱状であれば、外形を認識して自由に区間を設定しスクリーン印刷できます。

今までに印刷できなかった形状への印刷、複数回に分けて印刷～乾燥していた工程を 1 回で印刷するなど、印刷する対象が大きく広がります。



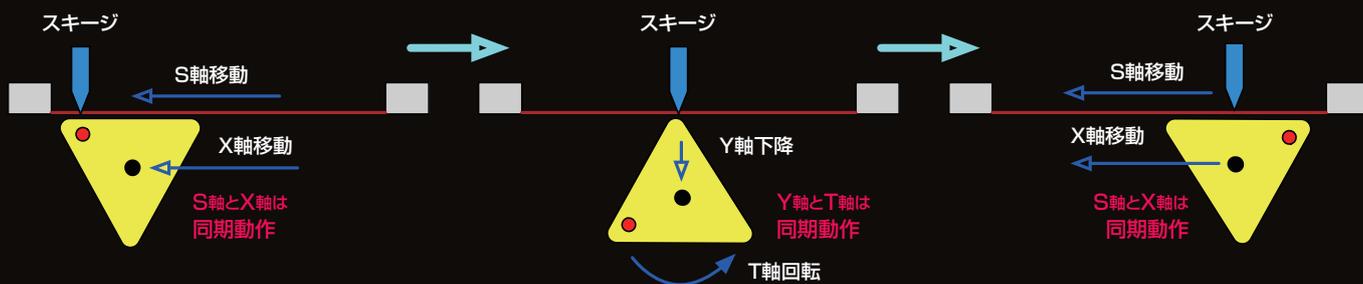
断面が丸いワークを転がすと回転中心は直線を描きます。



断面が三角形のワークを転がすと回転中心は 3 つの円弧を描きます。

自由曲面印刷機の外形認識システムは描かれた線から元のワーク形状を割り出します。

割り出した外形形状からスクリーン印刷に必要なスクリーン版とワーク外周面を同期するための駆動データを生成します。スクリーン軸 {S 軸}、ワーク軸 {XYT 軸} で円筒印刷機と同様な動作を行います。



特徴

自由曲面印刷機の外形認識システムは実ワークがあれば形状を割り出せます。

CAD データがあっても柔らかい材質のワークなどは実形状が変わる可能性があります。印刷したい部分を選んで外形形状を認識できます。

印刷区間を自由に設定できます。1 つの印刷パターンを複数個所に印刷、隣り合った印刷パターン間の距離を調整して印刷、印刷パターンの全長を補正して印刷ができます。

※ 本機は半自動機ですが、ワーク供給排出装置などの自動機への組み込みが簡単にできます。

※ 本機は弊社内に常時設置されていますので、印刷テストを受け付けています。